

新着図書案内No. 10



『二番目の悪者』林 木林/著 小さい書房

金色のたてがみを持つ金ライオンは、王になりたかった。自分こそが王にふさわしいと思っていたが、街はずれに住む優しい銀のライオンが「次の王様候補」と噂に聞く。ある日、金のライオンはとんでもないことを始めた――。

『戦場のコックたち』深緑野分/著 東京創元社

一晩で忽然と消えた600箱の粉末卵の謎、不要となったパラシュートをかき集める兵士の目的、聖夜の雪原をさまよう幽霊兵士の正体……、誇り高き料理人だった祖母の影響で、コック兵となった19歳のティム。彼がかけがえのない仲間とともに過ごす、戦いと調理と謎解きの日々を連作形式で描く。



『天国の一步前』土橋章宏/著 幻冬舎

若村未来、21歳。こんなに若くて介護をするなんてアリですか？ 女優志望の元ギャルに、突然降りかかったのは祖母の介護！？ 笑いと感動で描く注目作。

『子どもたちよ！』

中日新聞編集局/編 中日新聞社

戦争とは何か、戦争に巻き込まれた子どもたちはどうなったのか。中日新聞に寄せられた200人の戦争体験を子どもたちや若い世代にも読んでもらいたいと、イラスト・語釈を加え、書籍化。



『明治・大正・昭和 名古屋地図さんぽ』

溝口常俊/監修 風媒社

廃線跡から地形の変遷、戦争の爪痕、自然災害など、地図に刻まれた名古屋の歴史秘話を紹介。新旧の地図を頼りにまち探索に出かけよう！



『楽しく作って賢く遊ぶ！』

子どもの発達を促す知育おもちゃ

寺西恵里子/著 日東書院本社

子どもと一緒に楽しく簡単に作れる手作りおもちゃがいっぱい。知育ポイントや子どもとの遊び方、関わり方をわかりやすく解説。

『ABC! 曙 第二中学校放送部』

市川朔久子/著 講談社

みさとが所属するのは、機材オタク・古場とたった2人の零細クラブ、放送部。廃部の危機に加え、学校一厳しい先生からも目をつけられ、イマイチな毎日がつづく。さらに超絶美少女の転校生・葉月が関わりはじめてから、状況は複雑化して……！？ 個性豊かなキャラクターたち、真剣勝負の友情、恋愛からも目がはなせない、みずみずしい成長物語。



『吹部ノート』オザワ部長/著 ベストセラーズ



“目指すは吹奏楽の甲子園”。厳しい練習の日々を記録した反省ノート、楽譜、寄せ書き、ミーティングノート……そこには青春のすべてをかけたドラマがある。「もしも楽器が吹奏楽部員だったら」擬人化マンガも収録！

『江ノ島西浦写真館』三上 延/著 光文社

江ノ島の路地の奥、ひっそりとした入り江に佇む「江ノ島西浦写真館」。100年間営業を続けたその写真館は、館主の死により幕を閉じた。過去のある出来事から写真家の夢を諦めていた孫の桂木繭は、祖母の遺品整理のため写真館を訪れる。そこには注文したまま誰も受け取りに来ない、どこか歪な「未渡し写真」の詰まった缶があった。繭は写真を受け取りに来た青年・真鳥と共に、写真の謎を解き、注文主に返していくが……。



『勇者たちへの伝言』増山 実/著 角川春樹事務所



ベテラン放送作家の工藤正秋は、阪急神戸線の車内アナウンスに耳を奪われる。「次は……いつの日か来た道」。謎めいた言葉に導かれるように、彼は反射的に電車を降りた。小学生の頃、今は亡き父とともに西宮球場で初めてプロ野球観戦した日を思い出しつつ、街を歩く正秋。いつしか、かつての西宮球場跡地に建つショッピング・モールに足を踏み入れた彼の意識は、「いつの日か来た」過去へと飛んだ。

『総員玉砕せよ！』水木しげる/著 講談社

昭和20年3月3日、南太平洋・ニューブリテン島のバイエンを死守する、日本軍将兵に残された道は何か。アメリカ軍の上陸を迎えて、500人の運命は玉砕しかないのか。聖ジョージ岬の悲劇を、自らの戦争体験に重ねて活写する。戦争の無意味さ、悲惨さを迫真のタッチで、生々しく訴える感動の長篇コミック。



『砂漠の悪魔』近藤史恵/著 講談社



大学生の広太は、自らの卑劣な行為が原因で、友人を自殺させてしまう。それをきっかけに、普通の学生生活から一転、悪事に荷担せざるを得なくなる。“バイト”として行かされた中国・北京で、広太は留学生の雅之と出会い、彼と共に中国西部に向かう。おもむいた砂漠で、広太は想像を超える事実と直面する。

『ことづて屋』濱野京子/著 ポプラ社

津多恵は、時折、頭に響いてくる死者の言葉を見ず知らずの人に届ける、ことづて屋。“叶えられなかった思い”を扱う優しく温かい物語。

